２０２３年 2月28日
第145号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本
発行人 助川一実
編 集 情宣担当
ホームページ
http://www.jreu-yokohama1.jp/

横地申 15 号　第３回団体交渉報告（２月２１日）その②

「懲罰的日勤教育を直ちにやめ、ヒューマンファクターの観点による原因究明に基づき早期の復帰を求める緊急申し入れ」

「正しい報告」で長期の日勤教育では隠ぺいが増え安全文化が崩壊する！

「責任追及」から「原因究明」へ　ＪＲ東労組へ結集し安全哲学を職場で築きあげよう！

事象発生

東海道線熱海駅構内　出発停止で起動開始
日時：2022 年 12 月５日（月）　列車：回送（熱海発・来宮行）
概況：運転士は熱海駅発車の際、パイロットランプ点灯を確認、出発信号機の現示を確認せず起動開始した。直後に停止信号を認め非常ブレーキで停車。割り込みボタンを使い指令に連絡した。
付記：⑴熱海駅到着は５分延着。到着時にすでに発車時刻であった。
⑵起動した距離は 20 ㎝と申告。
⑶延着したこと、来宮の折返し時間が僅少で、発車を急いでしまったと申告。

正しい報告：遅れが気になり基本動作が抜けてしまった。過去にも遅れを気にして抜けたことがあった。

※緑矢印は本来あるべき教育

※橙矢印は会社が行ってきた「教育」

ココの掘り下げは？

会社回答）遅れもあり、時間を気にして信号を確認していなかったと申告。会話の中で遅れたときに作業を省く傾向がある。

JR東労組の原因究明（合計4回）
「ヒューマンエラーは結果であって原因ではない」というヒューマンファクターの観点で「本人」「周囲の」「マニュアル」「設備」「環境」「マネジメント」などの視点で分析。

この先の業務、交代運転士のこと、他社線のダイヤ、遅れの影響など様々な情報を取り入れ考えてしまう。
先読みの傾向、先読みによる「省略」「近道」行動をとってしまう。

・一つひとつの基本動作を確実に実行する。
・仲間の基本動作の姿勢や会社の日勤教育の中でも良いと思うものは取り入れる。
・「グループ安全計画2023」を仲間と共に学習

現在、シミュレーターを実施。単独での時間が多いが、自ら指導員に基本動作を見てもらいうよう要請！

本人の申告、正直に話してくれた！

会社回答）やることは頭でわかっているがやっていない。

それはなぜ？と振り返ると・・・ポイントが見えた！

会社回答）「基本から」「イチから」振り返ってやり直すという「教育」の中身に至った。

会社回答）精神論になってしまうが、仕事に向き合う姿勢をもう一回やろうという判断に至った。
だいぶ遠回り、運転操縦と直結しないかもしないと思われるかもしれないが、「大事だ」と思いを込めてやってきた。

例えば…

何でそうなるの！？

社員もこと
企業人もこと
社会人もこと

会社回答）12月21日は、グループ理念や就業規則、社内報、変革2027といったメニュー。

本日（2/28）で日勤43日目、会社に何を求められているか目的がわからない…

会社は目的・期間・到達目標を明確にし、懲罰的日勤教育を直ちに止めべきだ！